

なぜなに? 国語

作・中野 守(中野劇団)

登場人物

文子(あやこ) おねえさん

何太夫(なんだゆう) くん

先生

教育テレビ番組。

マスコットキャラクター人形の何太夫君が考え込んでいる。そばに大学教授の先生がいる。

何太夫 「先生は食べられた。」

文子お姉さん登場。

何太夫 日本語って難しいなあ。

文子 どうしたの何太夫君？

何太夫 あ、文子お姉さん、日本語の助動詞って難しいね。

文子 そうね。日本人の中でもちゃんと使えている人は少ないって言われてるわ。

何太夫 誰に？

文子 ええ？

何太夫 文子お姉さん。

文子 なあに？ 何太夫君。

何太夫 「先生は食べられた」という言葉だと「お食べになった」という意味にも「食べる
ことができた」という意味にも「誰かに食べられた」という意味にもなるよね。

文子 そうね。「れる」、「られる」という助動詞には四つ意味があったよね。受身、可能、
尊敬、あとひとつは何だったかな？。

何太夫 …ねえ。

文子 …。

何太夫 「可能」の場合は「食べれる」って言った方がわかりやすいのになあ。

文子 …。

何太夫 五段活用動詞、例えば「触る」なら、受身尊敬なら「触られる」だけど、可能なら可能動詞の「触れる」に変化するから意味が判断しやすいよね。「ら抜き表現」は、可能動詞の一種だと解釈して、恣意的に使ってる人もいると思うんだ。勿論文科省の立場もあるから「ら抜き」が市民権を得るにはまだ時間がかかるだろうね。けど、「見られる」だと「裸を見られる」という受身も「お金を渡せば見られる」という可能も同じ「見られる」でややこしいし、その都度説明するのは非効率だよね。だからいずれはら抜きの方が正しいとされる日が来るよ。

文子 うん、でもここでは現在正しい日本語を覚えていこうね。それと、もう少し普通の例えて説明…。

何太夫 文子お姉さん。文子お姉さん。

文子 なあに？ 何太夫君。

何太夫 食べさせるのをさせられるときは何て言えばいいの？

文子 以前やった使役の助動詞「せる・させる」ね。例えばどんな状況かな。

何太夫 先生が魚を食べる。これをお姉さんが先生にさせると何て文になるのかな?

文子 私が先生に魚を食べさせる。

何太夫 うん。じゃあ、今のを僕がお姉さんにさせるとどうなるのかな?

文子 ええ? 何太夫君が私に先生に魚を食べさせる。かな?

何太夫 文子お姉さんにとって僕が尊敬する立場だったらどうなるのかな?

文子 私が何太夫君を?

何太夫 何太夫さ言ってね。

文子 何太夫様が私に先生に魚を食べさせられる。

何太夫 意味はそのまま先生にさせるのではなくて、魚にさせると言いたいときはどう

いうのかな?

文子 そんな状況ってあまりないと思うわ。

何太夫 あるかもしれないよね。

先生 あるかも知れないね。

文子 何太夫君が。

何太夫 様で。

文子 何太夫様が私に魚を先生に食べられさせさせられる。

何太夫 …。

文子 先週のおさらい。私は魚を食べたい。「たい」は何だったかな？

何太夫 さかな。

文子 「希望」の助動詞だよ。これを先生が食べたいと思っているように文を変えるとどうなるのかな？

何太夫 …。

文子 何太夫君？

何太夫 僕に聞いているの？

文子 …そうよ。

何太夫 私は先生が食べたい。

文子 そうじゃないよ。「先生」が思っているの。

何太夫 先生が文子お姉さんを食べたがる。

文子 じゃなくて魚をだけど、そうだね。一人称の場合は「たい」だけど、三人称の場合は「たがる」になるよね。

何太夫 じゃあ、同じ意味で魚が主語になったらどうなるの？

文字 魚が先生に食べたがられる。

何太夫 魚が食べられたって思っている場合は？

文字 魚が先生に食べられたがる。

何太夫 「食べたがられる」と「食べられたがる」はよく似ているけど意味が全く違うから

間違えないようにしないといけないね。

文字 でも、使う状況がないと思うわ。

何太夫、舌打ち。

文字 今、チツ（て言ったよね）。

何太夫 言ってないよ。

文字 これで殆どの助詞と助動詞を勉強したよね。

何太夫 うん。

文字 じゃあ、ゲームをしようか。

何太夫 じゃあ、王様ゲーム。僕が王様だよ。

文子 違うわ。助動詞を使ったゲームよ。そんな最初から王様が決まってるゲームはし

ないわ。どれだけ助動詞を覚えているか。

何太夫 わあ、面白そう。じゃあ僕見てるね。

文子 何太夫君も参加するのよ。私ひとりですたら寂しい人みたいになっちゃうわ。

何太夫 視聴率的にはそういうのもいいと…。

文子 はい。ここに、(ボードを用意) 九種類の助動詞や助動詞の意味が書いてあります。

「基本」「受身」「希望」「使役」「嘆願」「否定」「可能」「過去」「様態」。

携帯のメールチェックをする何太夫が目に入る文子。

文子 今から言う動詞にここに書いてある意味の助動詞や助動詞をどんどんつけていって
ね。

何太夫 ようし、仕事だから頑張るぞ。

文子 えっと、じゃあ、何太夫君からね。お題は「笑う」。

何太夫 「笑う」か。オッケー。

文子 受身。

何太夫 先生「笑われる」。

文子 どうして「先生」ってつけるの?

何太夫 面白いから。

文子 基本。

何太夫 先生「笑う」。

文子 使役、希望。

何太夫 先生「笑わせたい」。

文子 可能、否定。

何太夫 先生「笑えない」。

文子 受身、様態。

何太夫 先生「笑われそう」。

文子 否定、嘆願。

何太夫 先生「笑わないで」。

文子 使役、可能、否定、過去。

何太夫 えー? 先生「笑わせられなかった」。

文子 すごーい。

何太夫 どんなもんじゃーい。

文子 「先生」ってつけると面白ね。

何太夫 じゃあ、交替。今度は文子お姉さんが答えさせられる番だよ。

文子 …わかった。私も「先生」ってつけていいかな。

何太夫 えー？ いいよ。途中からだんだん早くなってくからね。

ボードを受け取る何太夫。

文子 じゃあ、私のお題は何かな？

何太夫 「行く」

文子 オッケー。

何太夫 可能、否定。

文子 先生、行けない。

何太夫 希望。

文子 先生、行きたい。

何太夫 使役、嘆願。

文子 先生、行かせて。

何太夫 様態。

文子 先生、行きそう。

どんどん早くなる何太夫。

何太夫 基本。

文子 先生、行…。

何太夫 基本。

文子 …。

何太夫 基本。

何太夫を睨む文子お姉さん。

文子 …。

何太夫 基本。…基本。…基本。…基本。基本、基本基本基本基本。

間をためる何太夫。

何太夫 過去…。

文子 …。

何太夫 …。

文子 …。

先生 おやおや、何太夫君。いつにもまして悪い顔になっているよね。今日もやっぱり最後はセクハラでした。来週から多分新しい番組が始まります。さようなら。

手を振る先生と何太夫。終わり。